

2012年5月14日

私立大学図書館協会西地区部会
東海地区協議会加盟館 殿

私立大学図書館協会西地区部会
東海地区協議会研究会運営委員長校
中部大学附属三浦記念図書館
館長 内藤 和彦
(公印省略)

2012年度図書館実務担当者研修会の開催について(ご案内)

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は協議会の活動に関しまして、格別のご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

さて、本委員会では、標記の研修会を下記の通り開催する運びとなりましたので、貴館実務担当者のご参加をお取り計らいくださいますようお願い申し上げます。

つきましては、参加の有無を別紙「参加申込書」にて 5月31日(木)までにE-mail 添付にて下記連絡先宛にご返信ください。また、ご質問およびご不明な点がございましたら、同じく連絡先までお問い合わせください。

ご多忙中のこととは存じますが、多数のご参加をお待ちしております。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

敬具

記

日 程： 2012年9月6日(木)～7日(金)

会 場： 入鹿の里 MUSICA

愛知県犬山市篠平54番 Tel : 0568-69-0031

<http://www.irukanosato.com/>

内 容： 別紙「実施要領」および「ワーキング紹介」のとおり

連絡先： 名古屋学院大学学術情報センター (担当：中田)

E-mail: toshokan@ngu.ac.jp

Tel: 052-678-4092 (直通) Fax: 052-682-6826

2012年度 図書館実務担当者研修会実施要領

1. 主 催： 私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会研究会
2. 目 的： 図書館実務担当者の能力向上を図るとともに、実務担当者同士の交流を深め、業務の円滑な運営をめざす
3. 日 程： 2012年9月6日(木)～7日(金) 1泊2日
4. 会 場： 入鹿の里 MUSICA 〒484-0017 愛知県犬山市篠平54番 Tel：0568-69-0031
URL：<http://www.irukanosato.com/>
駐車台数 30台（無料）
※ 名鉄・犬山駅発着の送迎バス(無料・所要時間15～20分)があります
第1日目(9月6日)は犬山駅東口発9時45分を予定しております
5. 対 象： 本協議会加盟館に勤務する実務担当者(身分・所属・経験不問)
※ できるだけ多くのスタッフの方々へご周知いただければ幸いです
6. テーマ：“学び”を支援する図書館力を鍛える
「図書館力」としたのは、大学の中での学習支援という図書館の役割を認識し、大学にたいして図書館の力をアピールできることを意識しました。
自信を持ってアピールするためには、図書館員個のスキルアップが必要であり、各ワーキングの内容やライティング支援等を通して、学びをサポートする力を身につけます。

7. 内 容：

【第1日目(9月6日)】

- | | |
|-------------|----------------------------------------------------------------|
| 10:00～10:25 | 受付 |
| 10:25～10:30 | オリエンテーション |
| 10:30～10:50 | 開会挨拶
ワーキング概要・事前活動報告 |
| 10:50～12:00 | 全体講義(1) 大学図書館の役割と職員に求められるもの
講師：茂出木 理子氏(東京大学教養学部等図書課長) |
| 12:00～13:00 | 昼食 |
| 13:00～14:15 | 全体講義(2) 大学生と大学教員に図書館をアピールする方法
講師：近田 政博氏(名古屋大学高等教育研究センター准教授) |
| 14:15～14:30 | ワーキング開始のためのオリエンテーション |
| 14:30～17:00 | グループワーキング
※【別紙2】をご参照ください |
| 18:00～ | 夕食・懇親会 |

【第2日目（9月7日）】

- 7:30～ 8:30 朝食
- 8:45～11:15 グループワーキング
(1日目からの続き。まとめ・発表準備を含む)
- 11:15～12:15 ワーキング発表・全体討議
- 12:15～13:15 昼食
- 13:15～16:30 全体講義(3) ライティング支援セミナー『レポート・論文の書き方』
① 「〈大学生のための〉レポート・論文の書き方基礎研修」体験
② ライティング支援の現状と課題：学生相談とライティング支援の方法
講師：小林 至道氏
(青山学院大学大学院文学研究科教育学専攻博士後期課程)
- 16:30～ 閉会挨拶

8. 参加費：15,000円（宿泊・食事代含） ※ 受付時に徴収させていただきます

9. 参加申込方法：

【別紙1】の「参加申込書」に必要事項を記載し、5月31日(木)までにE-mail添付にて下記宛にご返信ください。

<送付先>

名古屋学院大学学術情報センター（担当：中田）

E-mail: toshokan@ngu.ac.jp

Tel: 052-678-4092（直通） Fax: 052-682-6826

名古屋学院大学学術情報センター 宛

E-mail: toshokan@ngu.ac.jp

2012年度図書館実務担当者研修会 参加申込書

図書館名： _____

ご出席 ・ ご欠席

氏名 ふりがな	性別	担当業務		参加希望ワーキング		送迎バス 利用
		業務 担当年数	図書館 在籍年数	第1希望	第2希望	
	男 女					
E-mailアドレス		年	年			
	男 女					
		年	年			
	男 女					
		年	年			

【参加希望ワーキングの記入方法について】

以下のワーキングのうち、希望するワーキングに付された記号（A～C）をご記入ください。

- A. プレゼンテーション入門：聴き手のニーズに対応したプレゼンスキル
- B. パスファインダー作成のための「主題分析」と「情報資源の主題分析」
*パスファインダー作成経験の有無を、希望欄内に付記してください
- C. レファレンス：インターネット上のレファレンスツールを知る

※各ワーキングの詳細につきましては、【別紙2】をご参照ください。

なお、できる限り第1希望にご参加いただけるよう調整を図りますが、ご希望に添えない場合がありますことを予めご了承願います。

【送迎バス利用について】

送迎バスの利用を希望される方は ○ 印をご記入ください。

※参加されない場合も、お手数ですがご返信をお願いいたします

2012年度図書館実務担当者研修会 ワーキング紹介

A. プレゼンテーション入門：聴き手のニーズに対応したプレゼンスキル

講師	近田 政博 氏（名古屋大学高等教育センター） 茂出木 理子 氏（東京大学教養学部等図書課）
担当委員	加藤（愛知工業大学）＊， 蓑島（中部大学）
内 容	<p>オリエンテーションや講習会等、図書館員にプレゼンテーションスキルが求められる機会が多くなっている。今回は、さまざまなシチュエーションでのプレゼンテーションを想定することにより、スキルの幅を広げ、向上させることを目的とする。プレゼンテーションの基礎から学び、聴き手のニーズに対応した構成や話し方、表現方法を習得する。</p> <p>【想定対象】</p> <p>A1：教員、TA（於：新任教員研修，TAオリエンテーション等） 図書館の機能やサービスを知ってもらい、教育・研究に活用してもらうと共に、学習支援面での連携を図る</p> <p>A2：高校生、高校生の保護者等（於：オープンキャンパス，大学説明会等） 受験生とその保護者に大学図書館の役割や魅力についてアピールする</p>
事前課題	<p>1. A1・A2のいずれかを選択。プレゼンテーションに必要な材料(資料, データ等)を各自で収集し、下記2点を記載した構想メモ(A4用紙1枚以内)を作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アピールするポイントは何か（内容） ・どのような手段でアピールするか（方法） <p>2. 構想メモをAグループ参加者及び講師に配信し共有</p>

B. パスファインダー作成のための「主題分析」と「情報資源の主題分析」

講師	鹿島 みづき 氏（愛知淑徳大学図書館）
担当委員	島田（愛知大学）＊， 峯野（東海学園大学）
内 容	<p>パスファインダー作成の各種作業行程に不可欠な「主題分析」・「情報資源の分析」を行い、パスファインダー作成のノウハウを習得する。</p> <p>募集人数：10名</p> <p>※パスファインダー作成経験の有無を明記のこと（選考の基準ではありません）</p>

事前課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 『パスファインダー・LCSH・メタデータの理解と実践』 (ISBN:4877382186) 『レファレンスサービスのための主題・主題分析・統制語彙』 (ISBN:4585071253) の2冊を精読し、パスファインダーの目的と仕組みを理解しておく 2. 所属館の利用者ニーズを分析し、パスファインダーのテーマの候補を各自 10点以上挙げる(参照文献:『館灯』50号. 2012. p33-38.) →提出期限:6/18(月) 3. 1.の資料に関連して出される課題を提出する →提出期限:7/5(木) 4. パスファインダーに掲載する情報資源の候補リストを作成する →提出期限:8/20(月) ※事後課題あり(研修当日に完成できなかったパスファインダーの完成)
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

C. レファレンス:インターネット上のレファレンスツールを知る

講師	杉山 誠司 氏 (大阪大谷大学)
担当委員	中田 (名古屋学院大学) *, 中島 (豊橋創造大学)
内 容	<p>事前課題作成、参加者との情報交換、講義を通して、インターネット上のレファレンスツールを把握し、図書館員としてのスキルアップを図ることを目標とする。講義ではレファレンスの基礎を、<法令情報><統計>を事例にして学ぶ。自館で有用なレファレンスツール、Google Yahoo などの便利な利用法について情報交換をし、他館の事例を通じて、幅広い情報源の知見を得る。</p> <p>募集人数:15名程度</p>
事前課題	<p>レポートを作成し、事前にグループ参加者に配信</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自館で有用と考えるインターネット上のレファレンスツールをリストアップ 2. Google Yahoo などの便利な利用方法 3. レファレンスで困った事例

*は研修担当委員 (ワーキングリーダー)